

数 学 科

教科の重点目標 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着

	学習指導に関する現状と課題	授業改善のための具体的な取組	補充・発展的な学習指導の計画（具体的な取組の目標値や評価規準等）	今年度の評価（成果と課題）
第2学年	<p>◎「児童・生徒の学力向上を図るための調査」における意識調査では、数学の授業が「よく分かる」、「どちらかといえば分かる」と回答した生徒が全体の74%と数学への苦手意識が少ないことがわかった。反面、「ほとんどわからない」と回答した生徒が5%を占め、数学を苦手とする生徒への対応を考えていく必要がある。</p> <p>・学年全体を見ると、数学を得意とする生徒も、苦手とする生徒も授業の内容を理解しようと意欲的に取り組んでいる。</p> <p>・基本的な計算問題は多くの生徒が正確に解くことができる。図形の問題も苦手とする生徒が多いが、始業時にウォーミングアップとして図形の問題に取り組むことで、できるようになってきている。反面、文章を読み解く問題や課題を解決する問題などはトレーニングが必要である。</p>	<p>・習熟度別少人数授業を行うことで、生徒に合ったスピードで授業を行う。</p> <p>・基礎的な内容の演習プリントを行うことで教科書の内容の基礎・基本の定着を図るとともに、発展的な内容の演習プリントにも取り組むことで、それぞれの課題に合わせて学習できるようにする。</p> <p>・毎時間宿題を課すことで、家庭学習の習慣を身につけることを目標にするとともに、振り返りを行うことで基礎・基本の定着と深い学びを実現する。</p> <p>・数学的な見方・考え方を働かせた活動を取り入れ、習得した知識を活用して探究することで、思考力、判断力、表現力等を育成する。</p>	<p>・毎時間、基礎計算プリントを行うことで、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。</p> <p>・単元ごとに単元テストを実施し、その状況に合わせて、少人数クラスを編成するとともに、実態を把握し、個に応じた適切な指導を行っていく。</p> <p>・希望の生徒に対して、年間2回数学検定を実施することで、学力の定着を確かめるとともに、発展的な内容に取り組む。また、希望する生徒に対して、学習教室を実施し、意欲を高める。</p> <p>・授業ファイルや演習ファイルを定期的に回収し確認することで、生徒の学習状況や理解度を把握する。</p>	